

日時

2022年11月3日(木)
13:00~16:10

開催方式

Zoom (以下のフォームよりお申込みください)
<https://forms.gle/EWdGVgTY3fnPSnbD8>



プログラム

開場 (13:00)

研究発表 (13:10-14:00)

司会：吉田 寛 (静岡大学情報学部教授)

■ 田中 伸司 (静岡大学 人文社会科学部教授)

ダイアローグ

「対話の限界と可能性 - プラトンが描くソクラテスの対話から -」

休憩 (14:00~14:10)

シンポジウム (14:10-16:10)

日本仏教の諸相

現世否定的な態度、空の思想、禅定をはじめとする修行方法や、仏菩薩に対する信仰など、いくつもの特徴を持つ仏教は、6世紀に日本に伝来して以降、日本の社会と文化に大きな影響を及ぼしてきた。思想の分野もその例外ではない。仏教は日本の人々が物事を考えるための重要な基盤の一つであり続けてきたと言える。本シンポジウムでは、各時代に仏教という基盤のうえで展開された特色ある日本の思想を取り上げる。そのことを通じて、世界と人間について考え、生きるということに向き合ってきた人々の営みの一端を示すことを試みる。

■ 頼住 光子 (東京大学大学院 人文社会系研究科教授)

「折口信夫における仏教」

■ 鈴木 朋子 (お茶の水女子大学 コンピテンシー育成開発研究所・研究協力員)

「近代仏教における修養論 - 清沢満之と佐々木月樵」

■ 斎藤 真希 (静岡大学 人文社会科学部准教授)

「日本霊異記における現世利益」

総会 (16:20-16:50)

* 会員以外の方でも参加可能です。参加希望の方は、11月2日までに上記申し込みフォームよりお申込み下さい。(参加費無料)

静岡哲学学会大会

第四四回